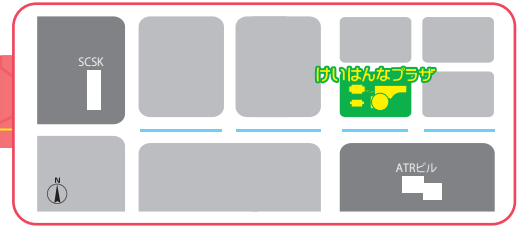


講演



※下記内容に付きまして予告無く変更する場合がございます。

会場 ナイル (けいはんなプラザ 3F)
11/11 (金)

時間	セッション	講演者	講演題目・概要
10:30~12:00	<p>先端情報通信技術で未来を拓く ～研究成果の早期展開に 向けた試み～</p> <p>技術立国日本の将来を支える先端科学技術は極めて重要です。中長期的視点で基礎的な研究に取り組みつつ、研究成果を早く社会へ展開するための取り組みなどをテーマとします。</p>	<p>ATR Learning Technology Corporation 代表取締役 CTO 山田 玲子 氏 TEL: 0774-95-2502 E-mail: info@atr-lt.jp URL: http://www.atr-lt.jp/</p>	<p>ATRの音声研究から生まれた英語力育成eラーニングシステム『ATR CALL』 ATRにおける長年に亘る音声言語研究の成果展開のひとつとして製品化され、教育機関やグローバルに活躍する企業に導入されている英語学習教材システム「ATR CALL」について、導入事例や製品デモを含めて紹介します。</p>
		<p>日本電信電話(株) NTTコミュニケーション科学 基礎研究所 メディア情報研究部 部長 大和 淳司 氏 E-mail: yamato.junji@lab.ntt.co.jp URL: http://www.kecl.ntt.co.jp/</p>	<p>NTTのメディア処理系基礎研究と事業展開 音や映像などのメディア情報処理技術は、基礎研究段階からの取り組みが必要な課題も多いですが、一方で市場ニーズも大きな分野です。音声処理やメディア探索などを例として、基礎研究から実用化に至るプロセスを紹介します。</p>
		<p>NICTユニバーサル コミュニケーション研究所 研究所長 木俣 豊 氏 TEL: 0774-98-6300 E-mail: UCRI-info@khn.nict.go.jp URL: http://www.nict.go.jp/univ-com/</p>	<p>未来につながる先端技術を社会へ 先端的な研究開発は将来の我が国を支える基盤技術を創るために重要です。技術シーズを育てる過程で多くの困難を伴いますが、NICTでは早期に実りが得られることを目指し新たな取り組みを始めています。実用化の事例を交え紹介します。</p>
13:30~15:15	<p>情報通信技術による ライフイノベーション ～生活の質の向上～</p> <p>国の第4期科学技術基本計画に掲げられた課題「ライフイノベーション」に関連してけいはんな学研都市で取り組まれている情報通信技術の研究開発を紹介し、将来の展望などについて議論します。</p>	<p>同志社大学 生命医科学部医情報学科 教授 廣安 知之 氏 TEL: 0774-65-6223 E-mail: jt-liais@mail.doshisha.ac.jp URL: http://liaison.doshisha.ac.jp/</p>	<p>広域分散ファイルシステムを用いた医用画像保存システム 本研究では、複数拠点に分散配置されているPicture Archiving and Communication System(PACS、医療用画像管理システム)を統合し、一つのシステムとして利用するシステムの提案を行います。</p>
		<p>日本電気(株) C&Cイノベーション研究所 所長 山田 敬嗣 氏</p>	<p>高齢化社会を活性化するための新たな情報通信技術への挑戦 来る高齢化社会において、人々が活性化し、より豊かな生活を楽しむことができる新たな情報通信技術の研究を進めています。現在取り組んでいる技術課題を含めて紹介します。</p>
		<p>パナソニック(株) 先端技術研究所 グループマネージャ 山本 正樹 氏</p>	<p>超高齢化社会にむけた人共存ロボティクスの技術取り組み 来るべき超高齢化社会において人々の暮らしをより豊かにする可能性をもつ、人と共存するロボットの技術課題に対する研究所の取り組みについて紹介します。</p>
<p>NICTユニバーサル コミュニケーション研究所 副研究所長 井ノ上 直己 氏 TEL: 0774-98-6300 E-mail: UCRI-info@khn.nict.go.jp URL: http://www.nict.go.jp/univ-com/</p>	<p>超臨場感コミュニケーション技術とライフイノベーション 遠隔地の人とあたかも同じ場所にいるかのような自然でリアルなコミュニケーションの実現を目指して超臨場感コミュニケーション技術の研究を進めています。この研究成果を紹介するとともに、生活の質向上に向けた今後の取り組みを紹介します。</p>		
15:30~17:00	<p>情報通信技術による グリーンイノベーション ～エネルギー利用の効率化～</p> <p>国の第4期科学技術基本計画に掲げられた課題「グリーンイノベーション」に関連して、けいはんな学研都市で取り組まれている情報通信技術の研究開発を紹介し、将来の展望などについて議論します。</p>	<p>(財)関西文化学術研究都市 推進機構 理事 二宮 清 氏 TEL: 0 774-95-5105 E-mail: ninomiya.kiyoshi@keihanna-plaza.co.jp URL: http://www.kri-p.jp/</p>	<p>グリーンイノベーションの動向とけいはんなの取組について 地球環境をとりまく諸課題とその解決策・取組みを概観しつつ、それらの相互関係や推進のためのキーポイントに触れ、学研都市地域での事例を紹介します。</p>
		<p>奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 中島 康彦 氏 TEL: 0743-72-5370 E-mail: nakashim@s.naist.jp URL: http://wonder2.naist.jp</p>	<p>高性能・低電力・高信頼を全部満たす次世代コンピュータはこんな姿? コンピュータが高速化してきた歴史を概観しつつ、高速化・低電力化・高信頼化を目指して行ってきたプロジェクト、および、現在進行中のプロジェクトについて紹介します。</p>
		<p>オムロン(株)環境事業推進本部 技術担当部長 緒方 司郎 氏</p>	<p>オムロンのグリーンイノベーションへの取組み 環境負荷を軽減し循環型社会を実現するために、オムロンのセンシング&コントロール技術によるエネルギーの見える化や再生可能エネルギーの有効活用への取組みを紹介します。</p>

11/12 (土)

時間	セッション	講演者	講演題目・概要
10:30~12:00	<p>防災・減災に役立つ 情報通信技術の実現に向けて</p> <p>東日本大震災直後に災害現場で行われた救援活動の経験を中心に、大規模災害時に情報通信に何が求められるのか、また今後どのような研究開発が必要となるのかなどについて考えます。</p>	<p>京都府・精華町消防本部 警防課 消防司令補 松下 佳司 氏</p> <p>NICTユニバーサル コミュニケーション研究所 研究所長 木俣 豊 氏 TEL: 0774-98-6300 E-mail: UCRI-info@khn.nict.go.jp URL: http://www.nict.go.jp/univ-com/</p>	<p>精華町消防本部における現場活動の流れと緊急消防援助隊での活動報告 現場活動の流れを通して、精華町消防本部ではどのような情報を収集・活用しているのかを紹介します。また、東日本大震災で緊急消防援助隊京都府隊として活動した内容を紹介いたします。</p> <p>防災・減災に向けた情報通信技術の活用 NICTでは人工衛星経由の大容量通信技術、状況に応じて効率的に利用できるワイヤレス通信技術、電波を使った地表面の計測技術などを東日本大震災直後に適用しました。防災や減災に役立つ研究開発を紹介します。</p>